

モクモクリさん
今月のモノづくりはなんですか？

身边な道具【玄能（金づち）】
について知ってみよう！！part3

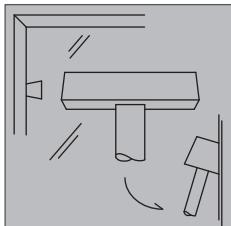
これまでに「仕組み」と「使い方」について見てきた玄能。

今回は、実際に使用される玄能（金槌）の種類について見てみよう！



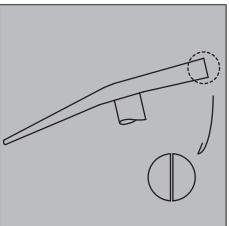
【硝子屋金鎌】

硝子屋金鎌は、窓硝子などを棧にはめる時、爪を打つのに使います。頭の断面が台形で、柄を窓硝子に対して斜めにしても打ちやすいように工夫されています。



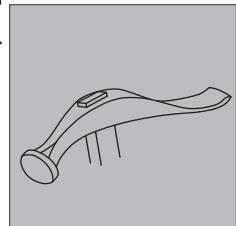
【椅子屋金鎌】

椅子屋金鎌は、椅子に布や革などを張る椅子張りの加工で、鉗や釘を打つのに使います。頭の一端の小口がマグネットになっています。



【革靴作りの金鎌】

革靴用の金鎌は、革靴の成形や釘打ちに使います。金鎌の小口は、革に傷がつくのを防ぐため、いつも鏡面になるようにサンドペーパーなどで磨く必要があります。細い形状の小口は「ミミ」といい、縫ったあとの革をこすったり、しごいたりするのに使います。



【日本の生活と藁（わら）】

古くから米を主食とし、稻作を中心とした日本の農村生活では、その副産物として得られた藁（わら）を、とても上手に活用していました。当時の人々にとって藁は最も身近な造形素材であり、衣食住の生活用具はもとより生業や遊具、時に信仰具として生活に深い関わりを持っていました。

秋岡コレクションの中には、藁を素材とした様々な資料がありますが、今回は

今日は何を知ろうか

これから periods of time 人々の生活を支えてきた「深沓」「雪沓」を紹介します。

【深沓 - ふかべつ】

長靴形で遠出用に使用される他、底が厚く作られているため新雪の雪踏みや、深く積もった雪中での歩行に「かんじき」とセットで使用された。

【雪沓 - ゆきべつ】

かかとのないスリッパ形で、踏み固められた雪道や近所を歩くのに使用された。

今日は何を知ろうか

【深沓】



【雪沓】



商品名：シンプルトレイ
サイズ：縦 300mm、横 400mm
高さ 18mm
価 格：5,940円(税込)
樹 種：サクラ、クリ、カエデ
クルミ、ウォルナット

最近は食卓の上でもよく見かける商品は、特に若い女性の方に人気があります。シングルトレイは、工房で作られるノーマルのランチョンマットよりも、その形。縁の高さも低く、便利にお使いいただけます。もちろん、邪魔をしません。木のぬくもりが、とても好評をいただいている商品です。欲しくなるだけです。

森林工芸館・どま工房からのお知らせ

森林工芸館の年内の営業日は12月28日(火)まで。また、企画展開催に伴い、貸館を休止しています。ただし新型コロナウイルスの感染状況により変更の場合もございますので、ご連絡ください。

年明けは1月4日(火)10時から12月6日(月)は定休日となります。なお、翌日5日(水)は定休日となります。間違えのないようご注意ください。

どま工房ですが、12月6日(月)より貸館の再開を予定しています。ただし新型コロナウイルスの感染状況により変更の場合もございますので、ご連絡ください。

どま工房企画展終了のご報告

10月9日より開催しておりました「日本の手仕事道具 - 秋岡コレクション」の企画展【奥深い道具の世界 - 職人が愛用した手道具】が、先月22日に会期を終了しました。

今はもう見る機会の少なくなった職人たちが愛用した手道具には、道具への愛着だけではなく、仕事への誇りも感じられたのではないでしょうか。ご来館いただいた皆さまありがとうございました。

秋岡コレクションの企画展は毎年10月から11月にかけて開催しています。毎回テーマを設け多くの資料から数百点を展示しますので、ぜひお越しください。



職人の道具
▼職人が様々な細工のために使用した豆鉢の数々
▼手作りされる物も多い



下駄・桶樽職人の道具
▼秋岡コレクションに収蔵される下駄職人・桶樽職人の道具一揃えを展示